

自然と文化科 活動記録 (自然観察会)

日時	2025年 2月28日 10:00~15:00	担当者
場所	一般コース：武庫川渓谷（旧福知山線廃線跡ハイキングコース） 46名 楽々コース：武田尾付近（右岸コクサギ群生地折り返し） 15名	文：田中 朱実 写真：猪野 守
備考	参加者数 1班 16名 2班 14名 3班 16名 4班 15名 実習生 4名 合計 65名	

リーダー 1班:高橋（総リーダー） 2班:大野 3班:中川 4班:上田 楽々コース：児玉（敬称略）



武庫川両岸のオニグルミ群生

記録者は楽々コースだったので、その活動記録を記す。10時、武田尾駅に15名集合。ルーペの代わりにスマホのカメラが使える事の説明を受け左岸上流に向かって出発。ツル性にもかかわらず、**ノダフ**

シの幼木が直立しているのを見て、ちょっと驚く。**マルバアオダモ**（頂生側芽有）**ネムノキ**（隠芽）**ヨコグラノキ**（冬芽が2個2個）**ジャケツイバラ**（予備芽が並ぶ）**ヌルデ**（葉痕が大きなU字）の冬芽を観察。紅葉閣入口で**ヤマブキ**の茎の髓の観察。若い時髓は詰まっているが、退化して穴が空くらしい。棒でつくると、白い髓が出てきた。子どもの頃、これを口に入れたり出したりして遊んだ記憶のある人もいて盛り上がった。**イタヤカエデ**と**イロハモミジ**の冬芽比べ、前者が仮頂芽にならず頂芽になる事を確認。次に**ヒメコウゾ**。力のありそうな男性でも、パキッと折れず樹皮が残った。冬芽は飛び出した葉痕の上におむすび型。**ヤブムラサキ**と**ムラサキシキブ**は毛の多さで見分ける。

ここでリーダーから「冬芽が開く為には何が必要？」の質問。答えは1温度 2水 3養分 「芽鱗の役目は？」紫外線対策、食害を防ぐ等、芽を守る為。寒さ対策だけではないと説明を受ける**アラカシ**の冬芽五角形、2/5葉序。コマユミの冬芽四角形、十字対生。冬芽と葉序は関連している。**カワラハンノキ**雄花序は下向き（裸芽）雌花序は上向き（裸芽）枝先から「雄雌葉」**アオキ**1つの芽の中に、既に3本の枝が入っていた。茎が緑なのは陰樹なので茎にも葉緑素。タンニンを持っているのは動物に食べられない為。太い髓の観察。一般的に低木は髓が太い傾向にある。**ダンコウバイ**はもうすぐ開きそうな花芽が付いていた。**ノブドウ**は隠芽、**ヤマブドウ**は鱗芽。**ナンバンカラムシ**は木本、**カラムシ**は草本。**シロダモ**の葉を火であぶり、ロウ物質である事の実験。**クズ**の葉痕は百面相。それぞれ自分の気に入った顔の冬芽を持ち帰る。茎のストローを吹いて、ブクブク成功！歓声上がる！つる植物は高い所まで水を上げなければならないので道管が太い。断面観察。**コクサギ**の果実は種子をはじいた後再び閉じたのか、初めから種子のないシイナだったのか。喧々諤々。最後に今日のまとめをして解散。



アオキの冬芽の中に既に3本の枝



クズの茎の太い道管



皆熱心に観察



ヤマブキの茎から出てきた髓

所感：観察有、実験有のとても楽しい観察会だった。紙面があれば、もっともっとご紹介したいのだが残念。今まで「なんだ、アオキか。ヤマブキか。」で終わっていた植物にも沢山の面白いことがつまっていた。反省。ありがとうございました。